

# 「地域おこし協力隊」は地方創生 につながるのか：その現状と課題

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。令和3年度で約6,000名の隊員が全国で活動していますが、総務省ではこの隊員数を令和8年度までに10,000人に増やすという目標を掲げており、この目標に向け、地域おこし協力隊等の強化を行うと発表していますが、協力隊の雇用形態や賃金格差、地方自治体との関係、その後の定住など、課題は山積しています。持続的地域活性化に向けて何が必要なのか、その政策課題について、現役の地域おこし協力隊で活躍している隊員と議論を深めていきます。

講演：近藤 一郎（厚真町地域おこし協力隊）

司会：池 炫周 直美 公共政策大学院准教授

日時：2023年1月19日（木）

18:00～19:30（開場17:30）

場所：北海道大学文系共同講義棟・5番教室

（オンライン視聴可）

## ■参加申し込み

参加ご希望の方は、公共政策大学院WEBサイトもしくは右下のQRコードより「事前申込フォーム」にアクセスのうえ、必要事項をご登録ください。

※ 登録締切：2023年1月18日（水）17時厳守

